

第2回

令和6年 5月28日(火) 15時~17時

教材番号24 かかわってみて・・・

～地域の大人ができること～ (アレンジ版)

主催団体など	廿日市市 大野東市民センター
開催場所	廿日市市 大野東市民センター
対象者	子育て支援者
参加者数	10人
ファシリテーター	メイン：中丸 直見さん サブ：神原 彩乃さん、光井 祐子さん

● 講座の目的

大野東市民センターで、6月から「子どもの居場所@おおのひがし」を始めるにあたり、最近の子どもや親を取り巻く環境を理解し、子どもの豊かな成長を促す場をつくるために、地域の大人として何ができるかを考え、学ぶ。

● 講座の様子

1. オリエンテーション

あいさつ、ねらい、親プロの説明、ファシリテーターを紹介。

2. アイスブレイク

簡単なボードゲーム、カードゲーム、パズルなどをいくつか用意し、自由に遊んでもらう。皆さん童心に返り、夢中になって遊んでいた。



3. 3つの約束プラス1を確認し、プログラムに沿って進行

まず、2つのグループに分かれ、子どもの頃にどのような場所でどのような遊びをしていたかを付箋を使って振り返った。

続いて、今の子どもは、どんな遊びをしているのかを考え、子どもの健やかで豊かな成長のために、どんな大人であったらよいかを話し合った。

各班で話し合ったことを全体発表。

- * 子どもが安心して自由に話ができる場所、話を聞いてあげる場所になる。
- * 親が安心できる人（場所）になる。
- * 自分（大人）にとっても「子どもの居場所」は、子どもを知るチャンスの時。
- * 大人も一緒に楽しむ。

など、全員で意見を共有した。



4. 最後に、参加者1人ずつ「今日の気づき」を発表

● 参加者の感想（一部抜粋）

- ・アイスブレイクでいろんなおもちゃで遊んで、忘れていた子どもの頃を振り返る良い機会になり、楽しかった。
- ・今の子どもを知ることが大切なのだと思った。
- ・安心安全な場所と時間が必要なことが分かった。これから始まる「子どもの居場所」という素敵なお取り組みにワクワクしている。
- ・ファシリテーターの皆さんのが終始笑顔で、リラックスして参加できた。
- ・コミュニケーションの大切さを知った。

● ファシリテーターの感想（一部抜粋）

- ・アイスブレイクのゲームでは、皆さんにリラックスして楽しんでもらえた。
- ・フリーでゲームやおもちゃで遊ぶことで、立場に関係なく遊べていた。
- ・皆さんととても意欲的に話されていた。
- ・年代の違う皆さんの話が、自分の子どもの頃と違っていて楽しかった。